

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人北区さつき会 Ikutas kids		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	物理的環境の潤沢さ(スペースの広さ、スタッフ数、職種のバラエティ)	それぞれの職種からの視点を大事にしつつ、そこだけに縛られすぎない支援を目指しております。	スタッフ間同士がこれまで以上に風通しよく、コミュニケーションが取れる環境づくりを行っていく。
2	ひとりひとりのお子さんにかかることのできる支援の「厚み」	利用者1:支援者(専門職)1のマンツーマン対応の支援。担当制で支援を行っているため、支援の連続性が担保することができる。	他職種・他事業者連携等、外部機関に向けた発信力をつけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他所との連携、外部に向けた発信など。	支援内容の充実、ひとりひとりに向けた支援など、対利用者に向けた支援は強いが、外部に向けた発信力はウイークポイントだと認識している。	外部研修への参加、外部機関との連携など。
2	各種発信力の弱さ、など。	保護者に向けた支援、外部に向けた情報の発信など、発信力が弱いと認識している。また見えにくい部分の見える化ができていないと認識している。	情報発信の内容、発信の頻度など、見直しが必要。
3	外部研修の受講機会の少なさ。	資質向上に向けた研修の受講の機会が少ないと認識している。	外部研修の情報発信、また計画的な受講を目指す。